



RED · CROSS · IBARAKI

日赤茨城

No. 138

平成16年9月
発行

発行所 日本赤十字社茨城県支部

〒310-0914 茨城県水戸市小吹町2551 URL <http://www.jrci.jp>
TEL (029) 241-4516 FAX (029) 241-4714

新潟豪雨災害に 救援物資と 職員派遣！



平成16年7月13日、新潟県を中心に降り続いた大雨の影響で、堤防が決壊し、床上・床下浸水・土砂災害等が発生した新潟豪雨災害に対し、本県支部では、第2ブロック（関東1部6県・山梨・新潟）代表支部である東京都支部の救援物資応援要請に基づき、同日23時30分、日用品セット2,540セット・お見舞い品120セットを長岡赤十字病院に、さらに、7月17日17時40分には毛布1,000枚を日赤新潟県支部に搬送しました。

また、この災害により被災地において多くの方々が必要生活を余儀なくされ、被災者の方は身体的な疲労ばかりでなく精神的な負担が大きくなっていることから、これら被災者の精神的負担を軽減するため本県支部では「こころのケア」スタッフとして7月25日から26日の間、水戸赤十字病院看護部長と本県支部職員1名を新潟県中之島町に派遣し活動に当たりました。



収益金の一部を寄附！

7月22日、株式会社ジョイバック・マーチ様（つくば市竹園）から豪雨で多大な被害が出た新潟県への義援金として、3,000,000円の寄附がありました。この寄附は、「災害に遭われた方々のためにいち早く役立ててほしい」という趣旨で収益の一部を拠出されたものであります。なお、当支部では次のとおり義援金を受付しております。

- 「三宅島災害義援金」
平成16年9月30日(木)まで
- 「新潟県梅雨前線豪雨被害義援金」
平成16年10月13日(木)まで
- 「徳島県台風10号関連被害義援金」
平成16年10月29日(金)まで

※詳しくは、日本赤十字社茨城県支部までお問い合わせください。

「災害救護訓練に参加して」

大宮町赤十字奉仕団 後藤 愛子

六月十八日、私たち大宮赤十字奉仕団の代表二十九名は「常備救護班等災害救護訓練」に参加するため、大宮町工業団地のグラウンドに集合いたしました。

私たちの地域は、幸いにも大きな災害がないこともあり、「大宮町付近を震源とする震度6弱の地震発生、建物が倒壊し被害者が多く出た。」という想定もすぐには実感が湧いてきませんでした。

しかし、この訓練に参加し、きびきびとした日赤関係者の訓練を見たり、また、担架搬送の指導を受けたり、負傷者として運ばれたりしている内に訓練の必要性をひしひしと感じさせられました。

非常食炊き出しの体験をし、昼食はそのご飯を食べ、昼休みにはお互い反省を行いました。閉会式の前行われた、医師・看護師など職種別の反省会を聞

きながら、「災害は忘れた頃にやってくる」と昔からよく言われている言葉に思いをはせると同時に、日頃からの訓練の大切さを感じました。本気になって訓練に臨むところが、いざというときに力を発揮できる源になることであり、そして身をもってその体験ができたことを嬉しく思いました。



看護の道の新たな スタートライン

水戸赤十字看護専門学校

去る六月十八日、水戸日赤看護学校二年生の戴帽式が厳粛に挙行されました。

一人一人がキャップを戴き、舞台中央のナイチンゲール像から看護の火を受け継ぎました。

その中で、学生は現代に看護を学ぶ者として、その意味をしっかりと捉え、「ナイチンゲール誓詞」を一同唱和しました。ま



た、基礎看護学実習を終え、看護について深く考え、クラスの今の気持ちを「決意の言葉」として発表しました。

「援助により患者様に笑顔が見られた時、回復や目標の達成を共に喜ぶことができた時、看護のすばらしさを身をもって感じ、改めて看護師になりたいという思いが強くなった。」と述べ、「患者様にとってより良い看護を目指し、知識や技術を向上させて行きたい。先生や臨地実習指導者のご指導、友人・家族の優しさに感謝し、これから看護者として人間として成長して行きたい。戴帽式を基にさらに努力を続け、看護の道を歩んでいきたい。」と結んでいます。

人は人によって育てられる」と言いますが、実習を通して、多くの学びを得ています。ナースキャップの是非が問われている中、当校では、戴帽式を学生が看護の道について再認識し、成長する機会となるよう位置づけられています。

初めの一步

[JRC+RCY=∞の可能性]



7月4日、日本赤十字社茨城県支部で県内各地域の青少年赤十字（JRC）高校生メンバー五十名が集い交流会を。また同日、青年赤十字奉仕団員（RCY）を対象に「RED CROSS YOUTH BASIC STUDY CENTER」と題した研修会をそれぞれに開催しました。

先輩・後輩の活動に互いに触れることができ、刺激のある交流会となりました。

参加者の感想

茨城県青年赤十字奉仕団連絡協議会

委員長 笹目香織

今回の研修会を通じて多くの参加者に、青年赤十字奉仕団（以下、青奉）のメンバーとしての自覚が芽生え、今まで以上に活動への意欲が高まった様子が見られました。

特に赤十字についての学習では、自身のボランティアに対する思いを再確認でき、また、普段なかなか交流のできない青少年赤十字メンバーとも交流を持つ機会が得られ、同じ赤十字のもと活動をしている者として多くの刺激がありました。茨城の青奉は今、この研修会で生まれたやる気と熱気により大きく動き出すとしています。

県立結城第一高等学校

JRCメンバー 北川敬子

この交流会に初参加の私は、不安で一杯でした。しかし、高校生メンバーや大學生の青奉の方との交流等をしていくと、いつの間にか周りに溶込み、不安など忘れていました。

今回は、赤十字でも活動を推進している骨髄バンク登録に関する講話を聞き、骨髄バンクに対する理解が浅かったことに気づかされました。初めて知る事ばかりで、正しい知識を得ることが大切だと強く思いました。特に、このバンク登録は世界的なネットワークで結ばれており、日本人だけではなく世界の人々を救える可能性もある事には誰もが驚いていました。今後もJRC活動に参加し色々なことにチャレンジしたいと思っています。

赤十字乳児院奉仕団県外研修会 —ねむの木村を見学して—

乳児院奉仕団員 大川 悦子

日赤茨城県支部乳児院奉仕団三十八名は、六月九日静岡県掛川市にある「ねむの木村」を見学させて頂きました。

観光バスから降り、ネム、松など緑豊かな道を歩くと、かねてより念願だった「ねむの木村」が見えてきました。この「ねむの木村」は健康な人、ハンディを持つ人、老人、若者が共に暮らせる場所で、私たちはその中の「肢体不自由児童養護学校ねむの木学園」を見学させていただきました。職員の方から施設の説明を受け、茶室、織物室などを案内いただきました。

また、玄関ホールには子供たちが描いた芸術的な絵が展示されており、子供たちの個性を大切にされた教育が、色々な形の花を開き、学園40年の積み重ねの重さと、子供たちの幸せをつくづく感じました。

中国にて

そして私は、園にかかれていた学園の合言葉「やさしくね、やさしくね、やさしいとはつよいのよ」を、そのままそっくり心にしまっけて学園を後にしました。



水戸赤十字病院が「病院機能評価」で認定証取得

水戸赤十字病院は、昨年、財団法人日本医療機能評価機構が実施している「病院機能評価」を受審した結果、同機構の定める認定基準を達成していることが認められ、本年四月十九日付で認定証（認定機関は五年間）を取得いたしました。病院機能評価とは、病院に必要なすべての機能につき、一定の基準を満たしているかを評価し、基準に達していない機能については改善を図ることにより医療の質を高めていく事業で、五百七十七項目を評価調査者が訪問審査と書

面審査により行うものです。病院機能評価は全国規模で受診されており、既に県内病院では二十病院、全国では千二百九十七病院が認定されています（六月二十一日現在）。

水戸赤十字病院は今回の評価結果等を踏まえ、今後とも地域の中核病院としての機能向上に努めていくこととしています。

なお、水戸赤十字病院の評価結果が下記インターネットホームページで提供されていますので、ご参照ください。

水戸赤十字病院
<http://www.mito.jrc.or.jp/>

水上安全法指導員養成講習会を開催

日本赤十字社茨城県支部では水上安全法の講習会を開催し、水の事故を防ぎ溺れた人を救助する方法や応急手当の知識と技術を県民の方に普及しています。

今年度は、その講習会の指導員養成を行うことを目的に「水上安全法指導員養成講習会」を六月と八月の延べ八日間行い、将来の指導員を目指す二十名の方に受講していただいております。

六月二十七日は、大洗サンビーチを会場に水上安全法の技術の確認と向上を目的に、救助器具を使用しての溺者救助方法や海中から浜辺への運搬方法を行いました。(写真)

また、八月十九日から二十三日にかけて、受講者全員が指導員資格の取得を目指し、八月十九日から二十三日にかけて

指し、指導員養成講習会にのぞみました。なお、今回の講習に赤十字海上特別奉仕団が船舶により海上パトロールを行い、海上の安全管理に努めました。



イベントに参加して

平成16年5月1日、日本赤十字社茨城県支部は、古河市福祉の森において開催された「第20回こどもまつり」に参加しました。このイベントは世代を超えた人々と触れ合うことで、積極的に社会参加ができるようなこどもを育成することを目的としており日赤も毎年参加しています。

5月1日は赤十字社員増強運動月間の初日ということもあり、赤十字広報事業の一端として非常食炊き出し実演、チラシ配布、パネル展示などを行いました。

その他参加したイベント

- 「大好き いばらき ふれあいまつり」(水戸市)……4/10
- さとみ春の味覚祭 (雫見村)……5/2
- 日赤水戸病院「看護の日」……5/13
- 「第20回福祉のつどい」(波崎町)……6/6
- 水郷潮来あやめまつり (潮来市)……6/19
- 東海まつり (東海村)……8/7
- えどさき夏まつり (江戸崎町)……8/21

評議員会で 15年度決算を審議

第97回評議員会が6月21日午後1時30分から支部で開催され、平成15年度事業費要の説明及び歳入歳出決算についての審議がされ、全議案とも承認されました。

知って良かった! 命を守る + 赤十字救急法

日本赤十字社茨城県支部では、救急法の普及を図り県民の方の生活がより健康で安全なものになることをめざしています。このたびはしみながら救急法の技術に触れていただくため下記のとおり救急法のイベントを開催いたします。興味のある方はぜひお申込ください。

1. WORLD FIRST AID DAY (短期講習会)

日本赤十字社茨城県支部では、9月11日(土)を世界赤十字デーとして、各国赤十字(赤新月)社が提唱するWorld First Aid Dayに合わせ(毎年9月第2土曜日)開催します。

内容…包帯法、心肺蘇生法など救急法の基本的な実技
定員…各講習会場とも30名(先着順)

期 日	9月11日(土)	
時 間	10:00~12:00	
会 場 (電話番号)		
北茨城市民体育館 (0293-43-1152)	北茨城市磯原町磯原1630-9	
日本赤十字社茨城県支部 (029-241-4516)	水戸市小吹町2551	
総合センターらぼーる (029-296-3933)	瓜連町古徳371	
勤労文化会館 (0299-83-5911)	鹿嶋市宮中325-1	
結城市民文化センターアクロス (0296-33-2001)	結城市結城8161-1	

2. 赤十字救急法フェスティバル

救急法の技術を楽しみながら触れるイベントです。三角巾を使ったリレーなどの競技の他、指導員による心肺蘇生法のデモなども行います。

お友達や職場、サークルなどでチームを作ってぜひご参加ください。

救急法未経験の方も、左記講習会にご参加いただければ、参加できる競技内容となっています。

日 時…10月31日(日) 10時~15時
会 場…水戸市総合運動公園内体育館
水戸市見川2202-1
TEL 029-243-0111

お申込お問い合わせ先…

日本赤十字社茨城県支部 事業推進課 TEL 029-241-4516 FAX 029-241-4714